

2026年度 教育・進路懇談会のしおり

保護者の皆さまとの個別面談を実施いたします

◎教員との個別面談

◎就職担当者との個別相談



CONTENTS

P.2	学長メッセージ	P.20	学修支援課
P.3	学部長挨拶	P.21	図書館
P.4	学科の取り組み	P.23	キャリア支援課
P.6	教務課	P.25	健康衛生課
P.18	学生課		



学長メッセージ



千葉科学大学
学長 藤本 一雄

平素より本学の教育・研究活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本学では、学生の学修状況や進路について保護者の皆様と情報を共有し、今後の支援に役立てることを目的として、「教育・進路懇談会」を毎年開催しております。学生一人ひとりが充実した大学生活を送り、将来に向かって確かな歩みを進められるよう、教職員一同、日々指導と支援に努めておりますが、ご家庭との連携がその支えとなることは言うまでもありません。

懇談会では、教員と保護者との面談だけでなく、学生ご本人にも同席いただく三者面談の形式でも実施しております。学生の学修の進捗や日頃の様子、進路の希望などについて、率直な意見交換を行い、より良い支援体制を築く機会としていただければ幸いです。

大学生は、知識や技術を身につけるだけでなく、自分自身の将来を見据えて進路を選択する大切な時期を迎えています。その過程では、迷いや不安を抱えることも少なくありません。そうした学生の心の動きに寄り添い、必要なサポートを行うためにも、保護者の皆様との連携は欠かせないものと考えております。

本日は、各学生の担当教員が学生の状況について丁寧にご説明いたします。ご質問やご意見もぜひお寄せいただき、今後の教育活動の充実に生かしてまいりたいと存じます。

ご多忙の中恐縮ではございますが、ぜひこの機会をご活用ください。

教育・進路懇談会 開催日時

期 日	会 場	実施時間	
9月12日(土)	千葉科学大学 マリーナキャンパス ※受付場所は学部により異なります。 (千葉県銚子市潮見町 15-8)	教員との 個別懇談	午前の部 9:30~12:00
			午後の部 13:00~16:00
		就職個別懇談	9:30~12:00
			13:00~16:00

※12:00~13:00は休憩時間となりますので面談は実施できません

学部長挨拶



薬学部長
岡本 能弘

保護者の皆様には日頃より薬学部の教育にご理解、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

ほとんどの入学者が薬剤師になることを希望していますが、薬学部の教育は6年間の長きにわたります。ご子息、ご息女が薬学部での6年間の公私共に充実した生活を送りつつ、薬剤師国家試験の現役合格につながるように、サポートしていきたいと思います。この教育・進路懇談会では保護者の皆様からの忌憚のないご要望やご質問などをお寄せいただきたく思います。いただいた情報を教員間で共有し、ご子息、ご息女が本学で学んでよかったと言ってもらえるようにしたいと思います。



危機管理学部長
大黒 孝典

保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より危機管理学部の教育活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学部では、学生一人ひとりが安心して学業や課外活動に取り組み、充実した学生生活を送ることができるよう、教職員が連携し、きめ細かな支援を行っております。また、学生と教職員との距離が近く、気軽に相談できる環境も本学部の特色です。

教育・進路懇談会では、ご子息・ご息女の修学状況や学生生活、成績、卒業後の進路などについて、チューター（指導教員）と直接懇談いただけます。大学への理解を深め、ご家庭と大学との連携を一層深める機会となれば幸いです。ご多忙の折とは存じますが、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。



看護学部長
富樫 千秋

保護者の皆様には、日頃より看護学部の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。看護学部では、チューター制や学年縦断グループ活動を通して、学生一人ひとりの個性や強みを大事にしながら、専門職として必要な知識・技術・態度の修得を支援しております。また、教員と学生の距離が近い環境のもと、学修面のみならず学生生活や進路についても丁寧に支援しております。本日の教育・進路懇談会が、学生の学修状況や将来について保護者の皆様と共有し、共に考える有意義な機会となれば幸いです。今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学科の取り組み



薬学科長
栢淵 泰宏

保護者の皆様には日頃より薬学科の教育にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

薬学科では、一人ひとりの学生さんとの対話を重ね、それぞれの学生さんに応じた学修指導を行うことで薬剤師国家試験に合格できる能力を身につけることを目指しています。昨年度から合格率改善に向けたプログラム「国試合格大作戦」として国家試験対策強化に取り組んでいます。また、学修面のみならず大学生活の諸問題に関しても、お困りの場合には教育・進路懇談会等にて、学部長・学科長、担当チューターにご相談ください。

ご子息の未来のために、丁寧に対応させていただきます。



危機管理学科長
木村 栄宏

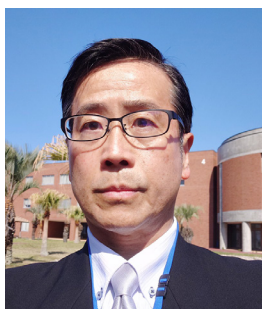
危機管理学科では、学生と教員の距離が近く、公務員、民間企業、大学院、起業などすべての希望される進路に対して学生ファーストの視点で親身に支援させていただいております。まず、各種公務員志望者に対しては、ハイグレード講座、ベーシック講座、学科内の公務員試験対応科目、ゼミを通じてきめ細やかで確実に結果につながるサポートを行っております。また、民間企業志望者や起業志望者に対しては、SPI対策講座、学科内の経営学系科目、ゼミ、さらには企業やNPO団体、一般財団法人等との連携を通して就職・起業に必要な実践的なサポートを行っております。

本日の教育・進路懇談会が、このような教育の現場を実感していただける絶好の機会となることを期待しております。



保健医療学科長
池上 喜久夫

保健医療学科は臨床検査学コース、臨床工学コース、救急救命学コースの3つのコースからなっており、それぞれ臨床検査技師、臨床工学技士、救急救命士の国家資格を確実に取得できるようサポートを行っております。国家資格に対しては各コース合格へのロードマップを作成し、計画に基づいた指導を徹底しています。また、個人個人で能力に差があることを踏まえ、個別の面談をなるべく多くの回数設定し、勉強に対するアドバイスを随時行っております。当学科は危機管理学部に所属しており危機管理学という学問を同時に修得することで単に国家資格取得者を目指すのみならず危機管理能力・意識を持った一段階上の社会人の育成を目標に日々努めております。このような貴重な機会を得るにあたり、ぜひ皆様のご意見を賜りたいと存じます。



航空技術危機管理学科長
松家 秀平

保護者の皆様には、日頃より、航空技術危機管理学科の教育にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当学科は、「パイロットコース」「航空工学・ドローンコース」および「航空マネジメントコース」の3つに分かれています。これらのコースは、それぞれが独立しているわけではありません。例えば、「航空マネジメントコース」の学生が、「パイロットコース」の学生と共にシミュレーターの訓練をしたり、「パイロットコース」の学生が「航空工学・ドローンコース」の学生と共に飛行機づくりにチャレンジしたりするというようにコース横断的な学習をしています。

この教育・進路懇談会にて、ご子息、ご息女の大学生活、修学状況、卒業後の進路等についてチューター（指導教員）と意見交換を行い、有効に活用したいと考えています。



動物危機管理学科長
福永 優子

日頃より、動物危機管理学科の教育にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本学科では、愛玩動物・産業動物・野生動物・水生動物・実験動物といった多様な動物に関する知識や技術を学べるよう、幅広い授業を開講しております。学生一人ひとりが自身の関心や将来の目標に沿ったカリキュラムを選び、意欲的に学べるよう、教員は日々の対話を大切に、個性や能力に応じたきめ細やかな指導・支援に努めております。また、動物に関連する各種資格の取得や公務員採用試験に向けて、勉強会・対策講座・模擬試験などを実施し、学習環境の充実を図っています。このたびの教育・進路懇談会では、ご子息・ご息女の大学生活や進路等に関するご相談を承り、より充実した学生生活を支援してまいります。



看護学科長
梅田 君枝

保護者の皆様には、平素より看護学科に格別のご理解をいただき、心よりお礼申し上げます。

4年間で看護学を学び、社会に必要な倫理や教養を身につけるには、学生自身が目標を持つことが大切です。看護学科では、学生が大学生活を楽しみ、学修習慣を維持し、最終目標を達成できるよう、支援体制を整えております。初年次は学修スキルの向上を目的に、グループワークやレクリエーション、先輩との交流の機会を設定しています。また、卒業時まで、チューターの個別面談を定期的に行い、生活支援や学修課題の早期対応を行っています。看護学科では、インスタグラムなどSNSを通して、キャンパスライフを紹介しております。ぜひ、保護者の皆様にもご覧頂き、教職員とともに看護学生を応援して頂きますようお願い致します。

教務課

1. 秋学期オリエンテーションについて

9月16日(水)から秋学期が始まります。9月16日(水)は、各学科・クラスごとに分かれてオリエンテーションを実施し、履修関係の注意や事務的な連絡を行います。

2. 履修手続について

履修手続は4月に春学期履修と秋学期履修を併せて行っていますが、9月16日(水)から9月24日(木)の期間に限り、秋学期分の履修追加(削除)訂正を受け付けます。他学科履修、超過履修を希望する方も履修訂正期間中に教務課窓口にて申請してください。

学芸員資格取得を目指しており、上限を超えての履修を希望する方も履修訂正期間中に教務課窓口にて申請してください。また、本学では各年次にそれぞれ進級要件を設けていますので(P8～17参照)、春学期の成績を必ず確認し、間違いのないよう手続を行ってください。

3. 学生情報の変更について

下記の学生情報に変更が生じた場合は、担当部署に速やかに届け出てください。

- 学生の現住所および電話番号の変更(学生課)
- 保証人あるいは連絡先住所の変更(学生課)
- 転籍、改姓(教務課)

4. 追・再試験について

定期試験終了後、以下に該当する場合は追試験または再試験を実施しています。

(1) 追試験

定期試験で次のいずれかに該当する事由で欠席した場合は、1科目につき1回限り受験することができます。

- 病気
- 不慮の事故および災害
- 二親等までの死亡およびこれに準ずる場合

- 大学院受験、就職試験

- その他やむを得ない事由と認められる場合

追試験を希望する場合は、まず試験の当日または翌日までに教務課にその旨を電話連絡してください。後日、追試験願および病気の場合は医師の診断書を、その他の場合には事由証明書を添え、当該科目の試験日翌日より1週間以内に教務課に提出してください。なお、追試験の受験料は1科目につき500円です。

(2) 再試験

定期試験において不合格点(D評価)となった場合、再試験を実施することがあります。

ただし、次の場合には再試験を許可しません。

- 教員が再試験を実施しても単位修得の見込みがないと判断する場合
- 科目の評価がE(受験せずまたは受講せず)の場合
- その他、教員が再試験を課すのに適当でないと判断する場合

なお、再試験の受験料は1科目につき2,000円です。

5. ノートパソコンの利用について

インターネットを利用した千葉科学大学ポータルサイトで、講義案内(休講・補講・教室変更)や個人または対象者宛の「お知らせ」など重要な情報を通知していますので、必ず確認するようにしてください。

パソコンの故障、ネットワーク・プリンタ・メールについての相談は教務課で行っています。大学指定パソコンの動作がおかしい、起動しないといった問題が生じた場合は、教務課に相談してください。

なお、大学指定パソコンの修理期間中は、教務課で代替機種を用意しておりますので、必要な場合は申し出てください。(但し、数に限りがあります。)

6. ノートパソコンの貸出について

大学指定パソコン購入者のみ貸出が可能です。※台数に限りがあります。

2026年度秋学期行事予定

日 程	行 事
9月16日(水)	オリエンテーション
9月16日(水)～9月24日(木)	履修訂正期間(追加・削除)
9月17日(木)	授業開始
10月12日(月)	月曜日の授業実施
11月3日(火)	火曜日の授業実施
11月13日(金)～11月15日(日)	青澄祭(大学祭)のため休講(13日は準備日)
11月23日(月)	月曜日の授業実施
12月24日(木)～1月3日(日)	冬季休業
1月18日(月)～1月30日(土)	定期試験
2月1日(月)～2月4日(木)	集中講義
2月1日(月)～3月31日(水)	学年末休業
2月8日(月)～2月13日(土)	再試験
3月20日(土)	学位記授与式

本学では、ご子息・ご息女の「成績」と「出欠状況」を、保証人の皆様が千葉科学大学ポータルサイトを介してご確認いただけます。保護者用のログインIDとパスワードについては、学内ネットワークに接続のうえ、学生用のログインIDとパスワードにてログインすることで確認ができます。

保護者用ログインIDとパスワードを確認後、以下のURLにアクセスしてください。スマートフォンからはQRコードをご利用ください。

<https://cisweb.cis.ac.jp/campusweb/campusportal.do>

※出席状況の反映には、授業日より数日かかる場合があります。



学生ポートフォリオ／保護者用サイト情報

■履修情報	■成績修得状況	■レポート情報	■出欠情報	■取得資格・賞罰情報	■指導教員・クラス情報
■就職情報	□保護者用サイト情報				

学生基本情報

学籍番号	○26 ○000	学生氏名	千葉 太郎
学生氏名(カナ)	チバ タロウ	学生氏名(英字)	Chiba Tarou
所属	○○部○○科	学年	1年
現況区分	在学	学生身分	学部生
クラス		出席番号	
セメスタ・通年制	通年制	セメスタ数	
同一学生情報			

氏名	千葉 太郎	学籍番号	○26 ○000
所属	○○部○○科	学年	○年
年度・学期	指示なし	修得単位数	○○

2026		累積GPA (注4)
春学期	秋学期	

No.	科目大区分	科目中区分	科目小区分	科目	教員名	単位数	修得年度	修得学期	評価	可否
1	一般基礎科目	一般基礎	人間と文化	銚子学		1	2026	春学期	A	合
2	一般基礎科目	一般基礎	人間と文化	人間と芸術		2	2026	春学期	D(注1)	否
3	一般基礎科目	一般基礎	人間と文化	人間の心理		2	2026	春学期	E(注2)	否
4	一般基礎科目	一般基礎	歴史と社会	政治の仕組		2	2026	春学期	B	合
5	一般基礎科目	一般基礎	保体	健康と科学		2	2026	春学期	N(注3)	合
6	一般基礎科目	一般基礎	科学と実践	リスク危機管理論		2	2026	春学期	S	合
7	一般基礎科目	外国語Ⅰ～Ⅳ	外国語Ⅰ	英語Ⅰ		1	2026	春学期	A	合
8	専攻科目	学部共通基礎科目		危機管理学入門		1	2026	春学期	A	合
9	専攻科目	学部共通基礎科目		教養ゼミナール		1	2026	春学期	B	合
10	専攻科目	学科基礎科目		情報リテラシー		2	2026	春学期	A	合

注1) D評価：59～0点（講義には出席し、試験も受けているが、総合評価が不合格の場合。）

注2) E評価：受験又は受講せず（講義の出席日数が不足しているか、試験を受けていない。）

注3) N評価：認定科目（他大学等で単位を修得している科目等。）

注4) GPA値について

GPAとは、Grade Point Average（グレード・ポイント・アベレージ）の略称で、各科目の評点を4点から0点の5段階評価で置き換え、その平均値を表したものです。

GPAは、「3.07」のように小数点第2位まで表示され、今年度成績の概況を一目で判断することができます。4点が満点で、点数が低いほど成績に問題がありますので、GPAが0.99以下の場合注意が必要です。また、今年度春学期の取得単位数が10単位以下、秋学期取得見込単位数を加算しても進級要件に比べて著しく少ない場合も要注意です。

S（秀） → 4点
A（優） → 3点
B（良） → 2点
C（可） → 1点
D（不可） → 0点
E（受験又は受講せず） → 0点

※2単位の科目で評価がSの場合のGPA値は、 $2(\text{単位}) \times 4(\text{点}) / 2(\text{総単位数}) = 4.00$ となります。

GPAの被評	
4.00 ～ 3.00	優秀
2.99 ～ 2.00	良好
1.99 ～ 1.50	普通
1.49 ～ 1.00	やや問題あり
0.99 ～ 0.00	即相談を要す

進級・卒業要件（2026年度生）

薬学部 薬学科

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 15単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験（JLPT）N2に合格していること。又は、BJTビジネス日本語能力テスト400点以上、J-Test実用日本語検定「A-Cレベル試験」600点以上、JPT日本語能力試験525点以上、日本留学試験（EJU）「日本語」（読解・聴解・聴読解）が220点以上のいずれかを取得していること。

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 51単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 97単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 129単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	11単位

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

v) 6年次進級要件

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実習」および「薬局実務実習」の科目が修得見込みである必要がある。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 131単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	11単位

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	1単位以上
	歴史と社会	1単位以上
	保体	1単位以上
	科学と実践	必修科目を2単位
	外国語Ⅰ～Ⅳ	各1単位以上 合計4単位以上 ※1
専攻科目 ※2	学部基礎科目	170単位以上 必修科目をすべて修得すること
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

※1 専攻科目の日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

※2 専攻科目の必修科目 167 単位すべて修得すること（選択科目を3単位以上修得すること）。

vii) 履修の上限単位数

1年間で履修できる単位数の上限を一般基礎科目ならびに専攻科目を合わせて55単位とする。

進級・卒業要件（2025年度生）

薬学部 薬学科

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 15単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験（JLPT）N2に合格していること。又は、BJTビジネス日本語能力テスト400点以上、J-Test実用日本語検定「A-Cレベル試験」600点以上、JPT日本語能力試験525点以上、日本留学試験（EJU）「日本語」（読解・聴解・聴読解）が220点以上のいずれかを取得していること。

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 51単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 97単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 129単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	11単位

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

v) 6年次進級要件

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実習」および「薬局実務実習」の科目が修得見込みである必要がある。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 131単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	11単位

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	1単位以上
	歴史と社会	1単位以上
	保体	1単位以上
	科学と実践	必修科目を2単位
	外国語Ⅰ～Ⅳ	各1単位以上 合計4単位以上 ※1
専攻科目 ※2	学部基礎科目	170単位以上 必修科目をすべて修得すること
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

※1 専攻科目の日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

※2 専攻科目の必修科目 167 単位すべて修得すること（選択科目を3単位以上修得すること）。

vii) 履修の上限単位数

1年間で履修できる単位数の上限を一般基礎科目ならびに専攻科目を合わせて55単位とする。

進級・卒業要件（2024年度生）

薬学部 薬学科

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 15単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験（JLPT）N2に合格すること。もしくは、BJTビジネス日本語能力テスト400点以上、J-Test実用日本語検定「A-Cレベル試験」600点以上または日本語留学試験（EJU）220点以上を取得すること。

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 51単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 97単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 129単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

v) 6年次進級要件

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実習」および「薬局実務実習」の科目が修得見込みである必要がある。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 131単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	1単位以上
	歴史と社会	1単位以上
	保体	1単位以上
	科学と実践	必修科目を2単位 各1単位以上
	外国語Ⅰ～Ⅳ	合計4単位以上 ※1
専攻科目 ※2	学部基礎科目	170単位以上 必修科目をすべて修得すること
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学・衛生薬学科目	
	臨床薬学科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

※1 専攻科目の日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

※2 専攻科目の必修科目 167 単位すべて修得すること（選択科目を3 単位以上修得すること）。

vii) 履修の上限単位数

1 年間で履修できる単位数の上限を一般基礎科目ならびに専攻科目を合わせて55単位とする。

進級・卒業要件（2023年度生）

薬学部 薬学科

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 16単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学科目	
	臨床薬学科目	
	キャリアアップ科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験（JLPT）N2に合格すること。もしくは、BJTビジネス日本語能テスト400点以上、J-Test実用日本語検定575点以上または日本語留学試験（EJU）220点以上を取得すること。

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 52単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学科目	
	臨床薬学科目	
	キャリアアップ科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 97単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学科目	
	臨床薬学科目	
	キャリアアップ科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 129単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学科目	
	臨床薬学科目	
	キャリアアップ科目	
	専門実習科目	
	総合科目	11単位

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

v) 6年次進級要件

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実習」および「薬局実務実習」の科目が修得見込みである必要がある。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 131単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学科目	
	臨床薬学科目	
	キャリアアップ科目	
	専門実習科目	
	総合科目	11単位

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	1単位以上
	歴史と社会	1単位以上
	保体	1単位以上
	科学と実践	必須科目を2単位 各1単位以上
	外国語Ⅰ～Ⅳ	合計単位以上 ※1
専攻科目 ※2	学部基礎科目	170単位以上 必修科目をすべて修得すること
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学科目	
	臨床薬学科目	
	キャリアアップ科目	
	専門実習科目	
	総合科目	11単位

※1 専攻科目の日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

※2 専攻科目の必修科目 167 単位すべて修得すること（選択科目を3 単位以上修得すること）。

vii) 履修の上限単位数

1年間で履修できる単位数の上限を一般基礎科目ならびに専攻科目を合わせて55単位とする。

進級・卒業要件（2022・2021年度生）

薬学部 薬学科

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 17単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学科目	
	キャリアアップ科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験N2に合格すること。もしくは、BJTビネス日本語能力テスト400点以上、J-Test実用日本語検定575点以上または日本語留学試験(EJU) 220点以上を取得すること。

※一般基礎科目【人間と文化】では、4年次修了までに「福祉学」を修得しなければならない。

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 49単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学科目	
	キャリアアップ科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 94単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学科目	
	キャリアアップ科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 126単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学科目	
	キャリアアップ科目	
	専門実習科目	
	総合科目	11単位

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

v) 6年次進級要件

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実習」および「薬局実務実習」の科目が修得済みである必要がある。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 126単位以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学科目	
	キャリアアップ科目	
	専門実習科目	
	総合科目	11単位

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	1単位以上
	歴史と社会	1単位以上
	保体	1単位以上
	科学と実践	必須科目を2単位 各1単位以上
	外国語Ⅰ～Ⅳ	合計4単位以上 ※1
専攻科目 ※2	学部基礎科目	170単位以上 必修科目をすべて 修得すること
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学科目	
	キャリアアップ科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

※1 専攻科目の日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

※2 専攻科目の必修科目 167 単位すべて修得すること（選択科目を6単位以上修得すること）。

vii) 履修の上限単位数

1年間で履修できる単位数の上限を一般基礎科目ならびに専攻科目を合わせて55単位とする。

進級・卒業要件（2026年度生）

危機管理学部

危機管理学科 保健医療学科 航空技術危機管理学科 動物危機管理学科

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科			0	
保健医療学科			24	
航空技術危機管理学科			24	※航空技術危機管理学科及び動物危機管理学科に所属する日本語を母国語としない学生は、2年次進級までに日本語能力試験（JLPT）N2に合格していること。又は、BJTビジネス日本語能力テスト400点以上、J. Test実用日本語検定「A-Cレベル試験」600点以上、JPT日本語能力試験525点以上、日本留学試験（EJU）「日本語」（読解、聴解・聴読解）が220点以上のいずれかを取得していること。
動物危機管理学科			24	

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科			50	
保健医療学科			64	
航空技術危機管理学科			64	
動物危機管理学科			64	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科			80	
保健医療学科			104	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
航空技術危機管理学科			104	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。ただしパイロットコースの学生は、合計96単位以上修得すること。
動物危機管理学科			104	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。その他カリキュラム表の備考欄にある進級に必要な要件を満たすこと。

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計124単位以上のうち、一般基礎科目は16単位以上及び専攻科目は104単位以上必要であるため、残り4単位以上は一般基礎科目および専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

学 部	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学部	16以上	104以上	124以上	1. 必須科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化] から1単位以上、[歴史と社会] から1単位以上、[保体] から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ] より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は、[外国語Ⅰ～Ⅳ] より日本語科目8単位を修得すること。 5. その他カリキュラム表の備考欄にある卒業に必要な要件を満たすこと。

v) 履修の上限単位数

1年間で履修できる単位数の上限を、危機管理学科、航空技術危機管理学科、動物危機管理学科においては、一般基礎科目ならびに専攻科目を合わせて50単位とする。保健医療学科においては、一般基礎科目ならびに専攻科目を合わせて55単位とする。ただし、動物危機管理学科において博物館学芸員資格を取得しようとする者は、「博物館に関する科目」を前記に定める単位を超えて履修することができる。この場合の1年間で履修できる単位数の上限は60単位とする。

※同一名称科目を除く他学部他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

進級・卒業要件（2025年度生）

危機管理学部

危機管理学科 保健医療学科 航空技術危機管理学科 動物危機管理学科

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科			0	
保健医療学科			24	
航空技術危機管理学科			24	※航空技術危機管理学科及び動物危機管理学科に所属する日本語を母国語としない学生は、2年次進級までに日本語能力試験（JLPT）N2に合格していること。又は、BJTビジネス日本語能力テスト400点以上、J. Test実用日本語検定「A-Cレベル試験」600点以上、JPT日本語能力試験525点以上、日本留学試験（EJU）「日本語」（読解、聴解・聴読解）が220点以上のいずれかを取得していること。
動物危機管理学科			24	

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科			50	
保健医療学科			64	
航空技術危機管理学科			64	
動物危機管理学科			64	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科			80	
保健医療学科			104	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
航空技術危機管理学科			104	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。ただしパイロットコースの学生は、合計96単位以上修得すること。
動物危機管理学科			104	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。その他カリキュラム表の備考欄にある進級に必要な要件を満たすこと。

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計124単位以上のうち、一般基礎科目は16単位以上及び専攻科目は104単位以上必要であるため、残り4単位以上は一般基礎科目および専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

学 部	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学部	16以上	104以上	124以上	1. 必須科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は、[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。 5. その他カリキュラム表の備考欄にある卒業に必要な要件を満たすこと。

v) 履修の上限単位数

1年間で履修できる単位数の上限を、危機管理学科、航空技術危機管理学科、動物危機管理学科においては、一般基礎科目ならびに専攻科目を合わせて50単位とする。保健医療学科においては、一般基礎科目ならびに専攻科目を合わせて55単位とする。ただし、動物危機管理学科において博物館学芸員資格を取得しようとする者は、「博物館に関する科目」を前記に定める単位を超えて履修することができる。この場合の1年間で履修できる単位数の上限は60単位とする。

※同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

進級・卒業要件（2024年度生）

危機管理学部

危機管理学科 保健医療学科 航空技術危機管理学科 動物危機管理学科

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科			0	
保健医療学科			24	
航空技術危機管理学科			24	日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験N2に合格すること。 もしくはBJTビジネス日本語能力テスト400点以上、J. Test実用日本語検定「A-Cレベル試験」600点以上、または日本留学試験（EJU）220点以上を取得すること。
動物危機管理学科			24	

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科			50	
保健医療学科			64	
航空技術危機管理学科			64	
動物危機管理学科			64	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科			80	
保健医療学科			104	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
航空技術危機管理学科			104	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。 ただしパイロットコースの学生は、合計96単位以上修得すること。
動物危機管理学科			104	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。その他カリキュラム表の備考欄にある進級に必要な要件を満たすこと。

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計124単位以上のうち、一般基礎科目は16単位以上及び専攻科目は104単位以上必要であるため、残り4単位以上は一般基礎科目および専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

学 部	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学部	16以上	104以上	124以上	1. 必須科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化] から1単位以上、[歴史と社会] から1単位以上、[保体] から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は、[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。 5. その他カリキュラム表の備考欄にある卒業に必要な要件を満たすこと。

v) 履修の上限単位数

1年間で履修できる単位数の上限を、危機管理学科、航空技術危機管理学科、動物危機管理学科においては、一般基礎科目ならびに専攻科目を合わせて50単位とする。保健医療学科においては、一般基礎科目ならびに専攻科目を合わせて55単位とする。ただし、動物危機管理学科において博物館学芸員資格を取得しようとする者は、「博物館に関する科目」を前記に定める単位を超えて履修することができる。この場合の1年間で履修できる単位数の上限は60単位とする。

※同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

進級・卒業要件（2023年度生）

危機管理学部

危機管理学科 保健医療学科 航空技術危機管理学科 動物危機管理学科

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科			0	
保健医療学科			24	
航空技術危機管理学科			24	日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験N2に合格すること。 もしくはBJTビジネス日本語能力テスト400点以上、J. Test実用日本語検定525点以上または日本留学試験（EJU）220点以上を取得すること。
動物危機管理学科			24	

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科			50	
保健医療学科			64	
航空技術危機管理学科			64	
動物危機管理学科			64	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科			80	
保健医療学科			104	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
航空技術危機管理学科			104	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。 ただしパイロットコースの学生は、合計96単位以上修得すること。
動物危機管理学科			104	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。その他カリキュラム表の備考欄にある進級に必要な要件を満たすこと。

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計124単位以上のうち、一般基礎科目は16単位以上及び専攻科目は104単位以上必要であるため、残り4単位以上は一般基礎科目および専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

学 部	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学部	16以上	104以上	124以上	1. 必須科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化] から1単位以上、[歴史と社会] から1単位以上、[保体] から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は、[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。 5. その他カリキュラム表の備考欄にある卒業に必要な要件を満たすこと。

v) 履修の上限単位数

1年間で履修できる単位数の上限を、危機管理学科、航空技術危機管理学科、動物危機管理学科においては、一般基礎科目ならびに専攻科目を合わせて50単位とする。保健医療学科においては、一般基礎科目ならびに専攻科目を合わせて55単位とする。ただし、動物危機管理学科において博物館学芸員資格を取得しようとする者は、「博物館に関する科目」を前記に定める単位を超えて履修することができる。この場合の1年間で履修できる単位数の上限は60単位とする。

※同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

進級・卒業要件（2026・2025・2024・2023年度生）

看護学部 看護学科

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。2年次の進級要件を満たしたとしても、その年次に修得すべき単位を修得できなかった場合は卒業が延期になることがある。

区分	系 列			要 件
一般基礎科目	人間と文化			10単位以上
	歴史と社会			
	保体			
	科学と実践			
	外国語Ⅰ～Ⅱ			
専攻科目	科目 専門基礎	科学 いのちを 科学する	いのちとからだ・こころを科学する	必須科目を 23単位以上
			いのちと生活を科学する	
			いのちと社会を科学する	
	専門科目	看護学 基盤分野	基盤看護学	
			小児・母性看護学 成人・老年看護学 精神看護学	
			在宅・公衆衛生看護学	
	看護学 広域分野	看護学 広域分野	在宅・公衆衛生看護学	

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。3年次の進級要件を満たしたとしても、その年次に修得すべき単位を修得できなかった場合は卒業が延期になることがある。

区分	系 列			要 件
一般基礎科目	人間と文化			12単位以上
	歴史と社会			
	保体			
	科学と実践			
	外国語Ⅰ～Ⅳ			
専攻科目	科目 専門基礎	科学 いのちを 科学する	いのちとからだ・こころを科学する	63単位以上
			いのちと生活を科学する	
			いのちと生活を科学する	
	専門科目	看護学 基盤分野	基盤看護学	
			小児・母性看護学 成人・老年看護学 精神看護学	
			在宅・公衆衛生看護学	
	看護学 広域分野	看護学 発達分野	在宅・公衆衛生看護学	
			在宅・公衆衛生看護学	
			在宅・公衆衛生看護学	

iii) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系 列			要 件	
一般基礎科目	人間と文化			必修科目を含め 3単位以上	
	歴史と社会				2単位以上
	保体				1単位以上
	科学と実践				必修科目を含め 2単位以上
	外国語Ⅰ～Ⅳ				各1単位以上 合計4単位以上※
専攻科目	専門基礎科目	いのちを科学する	いのちとからだ・ こころを科学する	選択科目「いのち と生活Ⅳ」(薬と 危機管理)、「医 療専門職連携導 入」のいずれか1 単位以上を含む 29単位以上	
			いのちと生活を 科学する		
			いのちと社会を 科学する		
		いのちの連携			
	専門科目	基盤分野看護学	基盤看護学	14単位	
			小児・母性看護学 成人・老年看護学 精神看護学	42単位	
			在宅・公衆衛生 看護学	13単位以上	
			統合分野看護学	総合共通看護学 から4単位以上 統合実践看護学 から6単位以上	

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

vi) 履修の上限単位数

1年間で履修できる単位数の上限を一般基礎科目ならびに専攻科目を合わせて50単位とする。

◎同一名称科目を除く他学部学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長および教務課の承認を得れば履修することができる。

学生課

ここでは、学生課からの学生生活に関する連絡事項及び注意事項を記載しておりますのでご一読ください。

1. 通学

①車両通学を考えている方へ

本学では、車両（乗用車・自動二輪車・原付）での通学を希望する学生は、車両通学許可申請の手続きが必要です。許可を受けていない車両での通学は一切認めていません。車両通学の申請は交通安全講習会を受講するか、レポートを作成して申請書および必要書類とともに提出する必要があります。

次の交通安全講習会は、10月1日（木）を予定しておりますので、車両での通学を希望する学生は、交通安全講習会に参加してください。

②交通事故防止

学生が、加害者・被害者を問わず交通事故の当事者となると、事故処理に多大なエネルギーを必要とする場合があります。

自動車、自動二輪車はもちろん、自転車の運転時にも交通事故の当事者とならないように、意識して運転することが重要です。

交通事故の大半は、ちょっとした不注意から発生しています。交通ルールの順守とゆとりを持った運転で大半の交通事故は避けることができます。

2. 奨学金

①秋学期奨学金説明会について

春学期開始直後に募集を行っていた日本学生支援機構の奨学金について、秋学期開始直後にも新規の申し込み募集期間があります。奨学金を希望される方は、9月の秋学期開始後すぐに行われる説明会へ参加してください。

②家計急変による奨学金について

自然災害や主たる家計支持者が亡くなるといった家計の急変により学業を継続することが困難になった学生を対象に、家計急変という枠で臨時で奨学金を申し込むことが可能となっております。通常の奨

学金とは準備する書類が異なりますので、対象の方は学生課へ相談に来てください。

3. 住所変更届

学生の現住所（アパート・マンションを含む）や帰省先（保証人）の住所などの情報は学生課で管理しています。

市町村合併や引っ越しなどで現住所や帰省先住所、連絡先の電話番号（携帯電話を含む）が変更になった場合も直ちに学生課へ住所変更届を提出してください。届け出を怠ると重要な書類が届かないほか、緊急時に大学から連絡ができません。速やかな届け出をお願いします。

4. 学生生活で注意すること

①防犯

夜間に授業や研究、クラブ活動等で帰宅が遅くなる場合は、人通りが少ない道を避け、できるだけ明るく安全な経路を利用するなど、防犯を意識した行動を心掛けてください。また、一人暮らしの住居では、短時間の外出であっても必ず施錠し、窓の戸締まりも確認しましょう。SNS等で所在地や行動予定を不用意に公開することや、住居や生活状況が外部から推測されるような行動にも注意が必要です。日頃から防犯意識を持ち、不審者や不審な出来事を見聞きした際は、速やかに警察または大学へ相談してください。学生課および図書館では防犯ブザーの貸し出しを行っていますので、必要な場合は申し出てください。

特に、性犯罪やストーカー被害など、被害の内容によっては特定の属性の学生が狙われやすいケースもあります。一人での夜間の移動や住居の防犯対策など、状況に応じた安全対策を心掛けてください。

②校内全面禁煙

千葉科学大学では、2025年10月より、受動喫煙防止および健康保持のため、敷地内全面禁煙となっております。違反者には、規程に基づく措置や罰則が適用される場合がありますので、必ずルールを守ってください。

③薬物乱用防止について

薬物は、あなた自身の心身の健康だけでなく、学業や将来の進路、家族や友人との信頼関係など、多くの大切なものを失わせる危険があります。近年では、大麻や危険ドラッグ、覚醒剤などについて、SNSやインターネットを通じて「安全」「一度だけなら問題ない」「合法だから大丈夫」などと誤った情報が広がるケースがあります。しかし、そのような情報を信じて使用した結果、依存症や重大な健康被害、犯罪への関与につながる事例が数多く報告されています。

また、薬物の所持や使用は法律により厳しく処罰される場合があります、逮捕や退学、内定取消しなど、将来に大きな影響を及ぼします。

薬物は、絶対に使用しないでください。

④学生生活に伴うトラブル防止

X（旧 Twitter）やInstagram、LINE等のSNSやブログ等、ソーシャルメディアを利用している学生が大半であると思います。SNSを使った犯罪に巻き込まれたり、SNS上に軽い気持ちで書き込んだ内容からトラブルになるケースもあります。SNSを利用する際は、下記のことを念頭において利用してください。

- 1：投稿した内容は瞬時に広がる
- 2：削除しても残り続ける
- 3：インターネットは発信元が特定できる
- 4：他人のプライバシーを侵害しない
- 5：他人を誹謗中傷しない

SNSに限らず、トラブル等に巻き込まれてしまった場合は、学生課へご相談ください。緊急の場合はすぐに消費者生活センターや警察等の担当機関へ相談してください。

5. 大学祭について

本学の大学祭は「青澄祭」といいます。今年度は11月14日（土）、11月15日（日）に開催予定です。



2025年度青澄祭



2025年度青澄祭



2025年度青澄祭

学修支援課

学修支援課（以下「支援課」という。）は学生の皆さんの学業への取り組みをバックアップします。支援課では、所属の担当者が、学生の質問に答えるとともに、各学部教員と学生の橋渡しを行っています。マリーナキャンパス厚生棟入口左側にありますので、積極的に活用しましょう。

◎こんなときには、支援課へ

●授業の内容が理解できない場合

担当教員に質問したくても、誰に、いつ、どこで、どのように研究室を訪ねたらよいかわからないときなど、支援課から教員の都合を聞くことができます。

●数学・英語・理科（物理・化学・生物）が苦手なわからない場合

数学、英語、理科などの担当者が支援課に常駐しています。中学、高校の内容でつまづいている場合であっても、その時点まで戻って指導します。つまづいた点を解決することによって、理解力がさらに高まります。遠慮なく質問・相談しましょう。

●レポートのまとめ方が分からない場合

国語の担当者が相談しながらレポートのまとめ方を指導します。

また、就職活動の際の履歴書、小論文等の書き方指導もしています。

●授業の内容は易しすぎるので、さらに高度な勉強がしたい場合

皆さんの希望を聞き、相談できる教員を紹介するなど、様々なお手伝いをします。

●授業についていけなくて、学校にいきたくない場合

授業を休んでしまつては、ますます分からなくなり

悪循環におちいります。早めに支援課を尋ねてください。どうしたらよいか、一緒に考えましょう。

◎秋学期の学習に向けて

入学したときには、誰しも希望に燃え、勉学、サークル活動、アルバイトと様々なことに期待していたことでしょう。

ところが、春学期の試験を受け、またオリエンテーションで成績表を受け取って「こんなはずではなかった」と驚く学生がよく見受けられます。今からでも決して遅くはありません。ぜひ支援課で相談を受けながら本気で勉学に取り組みましょう。1日遅れると取り戻すのに倍の時間がかかってしまいます。

1年生のうちに基礎学力をしっかりと身につけるようにしましょう。

定期テストの1週間前に「初歩から教えてください」と支援課を訪れる学生がいます。これでは全部の内容を理解するには時間が足りません。秋学期は、早めにわからない事を解決するよう努力してください。わからないのは恥ずかしいことではありません。わからないままにしておくことが恥ずかしいことなのです。テストの前にあわてないよう、早めに問題点を解決しましょう。

以下に学習支援課利用状況を載せていますが、質問に来てちょっとしたヒントですぐに分かって帰る人、何時間も勉強して帰る人などさまざまです。一人ひとりに合った方法で、学習の手助けをします。来室は、個人でもグループでも、構いません。

受け身の学びだけではなく、自ら問題解決の方法や考え方、コミュニケーション力を身につけることも学びのひとつです。そして、友人と語りつつ、「そのような考え方もあるのだ」と感じとっていくのもまた学びです。ゼミの教員との語らい、サークル活動での先輩からの助言などを通じて、これから社会人として生活していくための能力を身につけて欲しいと思います。

支援課をそうした場所の一つとして活用してください。皆さんの来室を待っています。

◎学修支援課利用状況

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1,481人	1,956人	2,434人	2,431人	2,337人	2,665人



支援課内「まなび場」学習風景

図書館

一答えのない問題に立ち向かうために一

■大学生にとって図書館とは…

多くの学生は、本学に入学するまで高校生だったと思います。高校では比較的、先生の手とり足通りの指導が受けやすく、答えが事前に準備された問題を解決する事が学習の中心だったことでしょう。一方大学では、より主体的に学習する姿勢が求められることが多々あります。学習の要所や、わからないことに出くわしたときなどは、担当の教員による親身な指導を受けることができますが、やはり基本となるのは主体的な学習態度です。

学生生活を送る上で、図書館はとても大切な場所のひとつです。図書館を使わなかったからといって、進級や卒業ができないということはありません。しかし大学生として普段の勉強をより発展させたり、将来の進路を考える上でより積極的にいろいろな人の考えに触れたり、広い視野に立って情報収集をしたりする際には、図書館がより良い大学生活を送るための“主体的な学習”の象徴のような存在であることを発見してほしいと思います。

本学の学生は他大学の学生に比べて、図書館をとてよく利用してくれています。この後で紹介しますが、年間の一人当たりの来館数や貸出冊数は、千葉県内の大学の中で常にトップクラスです。2年次以上の学生は今まで以上に、そして今年度入学した1年次生は先輩を見習って、たくさん図書館を利用してほしいと思います。普段の学習の予習・復習や定期試験対策だけでなく、自分自身の志望進路を実現するための資格やスキルのための勉強などに、図書館を役立ててください。また時間のあいたときに自分の専門・専攻にかかわらず様々な分野の本に触れ、進路の指針となるような一冊に、人生に大きな影響を受ける一冊に、ぜひめぐりあってほしいと思っております。

■図書館の概要紹介

1. 図書館の開館時間

- 平 日 (月～金) : 8:20 ～ 22:00
- 土曜日 : 9:00 ～ 17:00
- 日曜日 : 12:00 ～ 17:00

(注) 平日は22時で閉館します。但し、21時以降のバスはありませんので自己責任で利用してください。

(注) 定期試験期間中および休業期間中などは、開閉時間を延長または短縮しています。詳しくは図書館ホームページでご確認ください。

2. 24時間学習の場の開放

平成28年9月末に増築・竣工した建物は、みなさんが多様な学習が出来るように整備しました。

1階：アクティブラーニングに対応したラーニングコモンズ学習室（移動机20、可動椅子28）、グループ学習室3室（30席）、飲食可能なリフレッシュルーム（机11、椅子・ソファ 38席）

2階：6段6列の複式書架11台、閲覧席64席

また、本学の特徴として、定員の半数が国家試験受験を控え、図書館は多くの学生に利用されています（1日平均195人）。そのため増築1階部分は、長期休業期間以外の平日に限り、24時間利用可能な学習の場を設けています。安全面を考慮し、夜間専用出入口やSOSスイッチの設置、警備室からの防犯カメラ監視や防犯ブザーの貸出等を実施しながら、22時以降も深夜学習室として学生に開放しています。

新型コロナウイルス感染症対策のため利用制限を行っていましたが、令和6年4月より再開しています。

■図書館が実施する利用者指導

前述のように、大学生活を送るにあたって大切となる図書館を、学生一人一人が少しでも早く、より効率的に使いこなせるようになるために、1年次生を中心に以下のようなオリエンテーション・講義を実施しています。ここで、それらの内容を簡単に紹介します。

○図書館ガイダンス（1年次生4月）

大学生として図書館を使う上で最も基本的な図書館の機能、本の貸出や返却などの方法を知ってもらうことを目的として、新入生を対象に1時間の図書館オリエンテーションを行っています。

講義室に集合し、高校などの図書館（室）と大学図書館の違いを中心に、スライドを用いた図書館紹介を行います。実際に図書館各所を見てまわりながら、より具体的な図書館の機能や使用方法の説明を行うことも可能です。

○図書館講義（図書館資料のさがし方）（1年次生4月～5月）

講義の1コマで、ネットワーク上で図書館資料が検索できるツール“OPAC”の利用方法を指導します。

○図書館講義（学術文献のさがし方）（1年次生）

学術文献データベース等を用いて、レポート作成や、来るべき卒業研究に必要な学術情報（論文）の入手方法の基礎を指導します。“図書館=図書”とされていることが多いのですが、多くの学生はここで初めて論文などの学術情報に触れていくことになります。学術情報を探すためにはいろいろなツールや方法がありますが、必要とする情報は少なからずWeb上あるいは他の図書館から入手する必要があります。本講義ではこれらの“必要としている情報が本学図書館になかった場合”の対処方法についてもくわしく指導しています。

このほかにも、図書館は読書や日々の講義の予習・復習の場であるだけでなく、様々な情報収集の場であることを体得できるよう、様々な機会に学生に図書館利用に関する情報発信をしています。

○蔵書構成（図書）

本学図書館の分野ごとの所蔵図書の冊数（点数）です。図書館には大学の講義や研究に必要な図書、資格取得や就職活動に必要な図書はもちろん、様々な分野の資料を所蔵していることがわかりただけだと思います。

○年間来館者数（延べ人数）

62,586名

○年間貸出冊数

5,156冊

3,871冊（内学生貸出数）

（年間学生一人当たりの貸出冊数 約3.6冊）

（2025年度統計より）

■さいごに…

本学図書館の概要や、学生への利用指導の取り組みについて、簡単に説明させていただきました。図書館は大学での学習や勉強・研究を支援することはもちろんですが、趣味や娯楽、ちょっとした息抜きにも使ってもらいたいと思っています。また、学生が将来、社会人として巣立っていくにあたり、読書によっていろいろな知識を身に付けたり、情報を読

み解く力や考える力をつけてほしいとも思っています。そして図書館スタッフは、図書館を利用する学生諸君と求めている情報を結び付ける“情報コンサルタント”であり続けたいと考えています。

現在我々が暮らす社会はとても混沌としていて、想定外の対応を求められる場面が多々あります。このような状況の下、高校生まで学習してきた“答えのある問題を解く力”を大学生活でさらに発展させて、“答えのない問題を解く力”を身につけることにより、より広く社会に貢献できる人材に成長してほしいと常に思い、図書館スタッフは日々図書館利用者にエールを送り続けています。

（単位：冊（点））

	和図書	洋図書	総計
0 総記	1,801	197	1,998
1 哲学・心理学	1,527	384	1,911
2 歴史・地理	1,527	131	1,658
3 社会科学	13,065	1,489	14,554
4 自然科学・医学・薬学	32,462	3,630	36,092
5 技工・工学	7,496	571	8,067
6 産業	2,457	133	2,590
7 芸術・美術	804	154	958
8 言語	2,188	489	2,677
9 文学	2,165	136	2,301
卒論	137	5	142
資格	334	0	334
文庫	4,759	1	4,760
新書	2,765	0	2,765
闘病記	51	0	51
大型図書・地図・百科事典	140	4	144
視聴覚資料		1,020	1,020
電子ブック		287	287
その他		2,150	2,150
総 計	74,985	9,474	84,459

（2026年3月31日 現在）



キャリア支援課

キャリア支援課は、学生の皆さんの就職支援、就職先の開拓、各種資格取得支援などの業務を行う部署で、マリーナキャンパスの図書館1階にあります。

キャリア支援課を利用する学生は、1年次生から6年次生まで様々です。本学の就職支援プログラム&スケジュールでは1年次生から就職に関するプログラムが開催されます。本学の学生の進路先は病院・公務員・企業など多岐にわたっており、早期から将来の目標に向けて皆さんを支援しています。

また、学生個人向けの就職支援を次の通り実施しています。

○学生個人面談

就職に関するどんな些細な悩み・疑問などにも相談に応じています。

○履歴書・エントリーシート添削

企業に提出する履歴書・エントリーシートの添削を行っています。（要予約）

○面接指導（Web対応）

公務員、一般企業、病院等ニーズに合わせて指導を行っています。また、最近増えてきているWebにも対応しています。（要予約）

就職に関するご質問やご不明な点などがありましたら、キャリア支援課まで気軽にご連絡ください。

◎連絡先

千葉科学大学 キャリア支援課

TEL：0479-30-4552

FAX：0479-30-4557

E-mail：career@ml.cis.ac.jp



キャリア支援課
ホームページQRコード

キャリア支援課HPでは、就活イベントにかかわる案内のほか、履歴書（エントリーシート）添削・模擬面談の予約を行っています。

就職支援プログラム & スケジュール

本学の充実した 学生1人ひとり

就職ガイダンス

1年次生

新入生ガイダンス「将来に向けて」

4年間の学生生活の流れと、就職支援プログラムを紹介
就職ガイダンス

2年次生

第1回就職ガイダンス

第2回就職ガイダンス

3年次生

就職ガイダンス

「就職活動を始めるに当たっての心構え」

「就職能力検査」

「就職能力検査結果返却&解説」

「グループディスカッション演習」

「ビジネスマナー講座」

「業界研究講座」

「自己分析講座」

「自己PR講座」

「OB・OG講演会」

「履歴書・エントリーシート作成講座」

「4年生による内定者報告会」

「業界研究会の事前指導&傾聴力を養う&就活近況情報講座」

「学内業界研究会（消防・警察・自衛隊・海上保安庁・自治体・民間企業等）」

「学内業界研究会振り返り講座」

「面接対策講座①・②」

「就職出陣式」

4年次生

就職筆記・公務員試験対策講座

●公務員採用試験面接対策ガイダンス

就職懇談会・企業説明会・個別相談

学内個別企業説明会（4月以降随時開催）

企業採用担当者による本学での会社説明と筆記試験・面接。

就職活動個別相談会

※キャリア支援課職員・就職担当教員による個別相談により、企業採用担当者との橋渡しを行います。

就職支援プログラム！ 夢を叶える万全のバックアップ体制の個性にあった就職・進路サポートをおこなっています。

就職筆記・公務員試験対策講座

- 就職能力検査
- 公務員採用試験ハイグレード講座（選抜試験有）
- 公務員採用試験対策模擬試験

カリキュラム（就職支援正規カリキュラム）

- 【薬学部】●薬学入門 ●キャリアプランニング
 【危機管理学部】●危機管理学入門 ●キャリアデザインⅠ ●教養ゼミナール
 【看護学部】●精神・基盤・在宅看護概論
 【共通】●キャリアデザイン入門 ●リスク危機管理論 ●医療専門職連携導入

- 就職能力検査
- 公務員採用試験ハイグレード講座（選抜試験有）
- 公務員採用試験対策模擬試験

- 【薬学部】●薬剤師の責務
 【危機管理学部】●キャリアデザインⅡ ●専門文献購読 ●総合教養Ⅰ～Ⅳ
 ●論文作成
 【看護学部】●公衆衛生学看護学概論Ⅰ ●小児看護援助論Ⅰ・Ⅱ
 ●老年看護援助論Ⅰ・Ⅱ

- 就職能力検査
- 筆記試験（SPI）対策講座
- 公務員採用試験ハイグレード講座（選抜試験有）
- 公務員採用試験対策模擬試験

- 【薬学部】●医療人のあり方
 【危機管理学部】●法学特別講義Ⅰ～Ⅳ ●経済学特別講義Ⅰ・Ⅱ
 ●就業力育成特論 ●総合演習Ⅰ・Ⅱ
 【看護学部】●災害看護学 ●リスクマネジメント論 ●感染看護学
 【共通】●キャリアデザイン実践 ●インターンシップ

セミナー

スーツ・マナーセミナー、メイクアップセミナー、留学生対象セミナー
 日本で就職を希望する留学生を対象に就職セミナーや留学生を就職とした合同説明会（東京）に参加



合同業界研究会

業界研究バスツアー
 大学から専用バスにて合同業界説明会（東京・千葉）に参加。

業界研究会
 公務員（消防、警察、自衛隊等）、民間企業の採用担当者から仕事内容、特徴、やりがい、将来展望、求められる人材像の説明。

資格取得支援

資格
 危険物取扱者、防災士、リスクコンサルタント（RMCA-@リスクコンサルタント-A）、フォークリフト

資格検定試験（大学内実施）
 TOEIC

4・5年次生
薬学科

就職ガイダンス

就職ガイダンス（4年次生）
 「就職活動を始めるに当たっての心構え」
 「ビジネスマナー講座」
 就職ガイダンス（5年次生）
 「自己分析・自己PR講座」
 「履歴書・エントリーシート作成講座」
 「面接対策講座①・②」

6年次生
薬学科

企業説明会

学内個別企業説明会（4月以降随時開催）
 企業採用担当者による本学での会社説明を開催
 就職活動個別相談会
 キャリア支援課職員・就職担当教員との相談会



健康衛生課

健康衛生課での対応

【ケガ・体調不良時】

健康衛生課では医師が常駐しておらず、診療所ではないため、治療や与薬は出来ませんのでご了承ください。

最近、アレルギー体質の方も増え、市販薬でも合わない薬を内服した場合には重篤な状態に陥る懸念もあることから、健康衛生課では市販薬の提供も行いません。普段から飲み慣れた薬（持病がある場合には掛かりつけ医と相談の上）を常時携帯する等の対応をお願いします。

ケガなどの応急処置として、傷の洗浄とマキロンによる消毒、滅菌ガーゼや絆創膏による被覆のみの対応となります。

また、体調不良でベッドで休養をする場合には1時間を目安に退室をしていただいています。ご理解とご協力をお願いいたします。

学校感染症

学校感染症（分類は学生便覧をご参照ください）と診断を受けましたら、ポータルサイト内の「学校感染症」のタブより入り、フォームへ入力をして健康衛生課へご報告をお願いします。

平日9:00～17:00に健康衛生課より出席停止期間確認の電話連絡をしますので、必ず聞き取りに回答をしてください。健康衛生課が報告書を作成し、教務課と学科に提出をします。電話での聞き取りができない場合や出席停止期間を過ぎての報告は、健康衛生課では対応ができませんのでご注意ください。

登校再開後、「診断書」または「医師の意見書」のいずれかを教務課窓口にて提示し、自己都合によらない欠席届の手続きを行ってください。

※インフルエンザのみ処方された薬の説明書でも可ですが、健康衛生課にて確認の押印が必要です。

【連絡先】健康衛生課

【開室時間】平日9:00～17:00

【TEL】①0479-30-4502 ②0479-30-4538

【E-mail】kenkan@cis.ac.jp

医師による無料の相談

千葉科学大学には、内科医と精神科医（2名）の学校医が来校します。ご希望される方は、健康衛生課にFormsや電話、メールなどご予約をお願いします。マイナ保険証も不要で、無料で医師に相談ができます。秘密は守られますので、安心してご利用ください。

●内科医：銚子市立病院 院長 篠崎 一男先生

毎月第一木曜日 12:00～13:00

●精神科医：海上療養所 浅野 聡子先生（女性医師）

年間10回 水曜日 14:00～15:00

●精神科医：海上療養所 坂元 伸吾先生（男性医師）

年間10回 火曜日 14:00～15:00



外部相談窓口（サービス提供：ティーベック株式会社）

令和8年度から「千葉科学大学 こころとからだの相談ダイヤル」を運用開始しました。学生と保護者の方にご利用いただけるもので、無料の相談サービスを24時間・年中無休でご利用になれます。

●24時間電話健康相談サービス

●メンタルヘルス カウンセリングサービス

【TEL】0120-488-050

→日本語24時間対応

【TEL】0120-494-006

→中国語・英語対応（平日9:00～17:00のみ）

●ハラスメント相談ダイヤル

【TEL】0120-489-014

→日本語24時間対応

【TEL】0120-502-059

→中国語・英語対応（平日9:00～17:00のみ）

公認心理師による相談

●公認心理師：西垣 由加子先生

毎週 月・水・金曜日 10:00～16:00

※学生課が予約窓口です。Formsや電話、メールなどご予約ください。秘密は厳守されます。

【連絡先】学生課

【開室時間】平日9:00～17:00

【TEL】0479-30-4504

【E-mail】gakusei_sos@cis.ac.jp



〒288-0025 千葉県銚子市潮見町15-8

〈編集発行〉

学校法人 大城学園 千葉科学大学 学務部学生課

TEL 0479 (30) 4504

FAX 0479 (30) 4507

URL <https://www.cis.ac.jp>